

記録ID: 5758698 全員に公開 ハイキング 東海

公共交通で、南木曾岳周回コース

10拍手



山行記録 山行計画 関連付け(設定)

日程 2023年08月03日(木) [日帰り]

メンバー  miya10

天候 曇り時々晴れ

利用交通機関 電車、バス

往路：JR鶴舞駅6:50乗車・中津川駅8:10下車、8:14乗換・南木曾駅8:34下車、おんたけバス8:40乗車・尾越8:57下車。

アクセス 帰路：南木曾駅14:42乗車・中津川駅15:15下車・名古屋行きに乗換。

経路を調べる(Google Transit)

GPS



距離

12.5 km

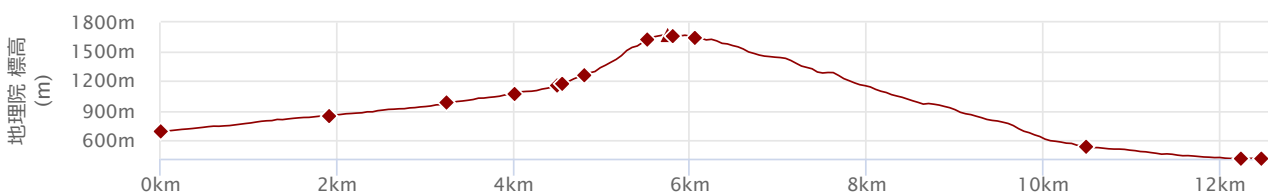
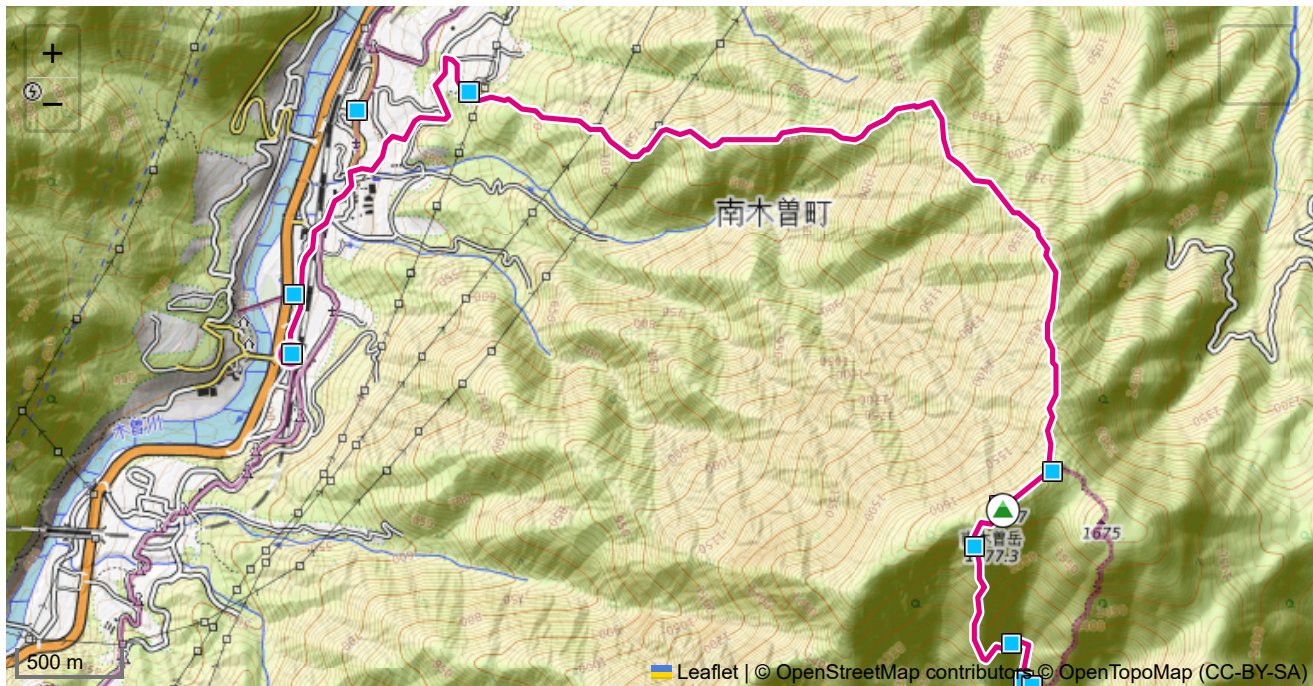
登り

1,013 m

下り

1,290 m

地図/標高グラフ



コースタイム [注]

表示切替:

日帰り	山行	5時間20分	休憩	20分	合計	5時間40分
S 尾越バス停	09:00	09:20	南木曽山麓蘭キャンプ場	09:25	09:40	南木曽岳山麓避難小屋
10:10	南木曽岳登山道入口	10:20	下山道分岐	11:20	かぶと岩	11:30 南木曽岳 11:35
11:40	南木曽岳避難小屋	11:50	14:20	南木曽岳登山口(上の原)	14:40	南木曽駅
14:40	ゴール地点	G				

コースタイムの見方: 歩行時間 到着時刻 通過点の地名 出発時刻

全コース、ヤマレコ指定コースの一般登山道。

- ・蘭(あららぎ)コース: 栈橋の様な梯子が多数ありますが、慎重に渡れば特に問題なし。

- ・上の原コース・登山道の笹の下草が刈込みされていないので足元注意。あまりハイカーが入っていないので笹の藪漕ぎが多数あります。道は良く踏み固められているので道迷いの心配は特に無し。

※雨天、雨あがり時は栈橋木階段や、木の根が滑り易いので要注意。

コース状況/
危険箇所等過去天気図 (気象庁) [2023年08月の天気図](#)

装備

個人装備

地形図(S = 1/25000)

コンパス必携

GPSがあれば尚安心

Ads by Google

この広告の表示を停止

広告表示設定 ⓘ



尾越バス停から蘭(あらぎ)登山口に直行、正面が南木曾岳、気合を入れてスタート。



静かなキャンプ場の絵看板でコースの確認、取りあえず林道歩き。



砂防堰堤の補強工事で登山道は巻道で堰堤の上に誘導、今日山道で初めての人の出会い。



堰堤の表側にコンクリート構造の補強工事。



南木曾岳山頂のループ上り下りの分岐、左側を選択。



栈橋階段はいかにも杣道風、慎重に登攀。



この急傾斜面に杣道風の堅固な割板階段、職人さんに感謝して登攀。



随分数ある杣道風階段、見晴らしが良いので小休止です。



砂防堰堤工事場の先は尾越の山里、その先は県境稜線。



南木曾岳山頂には随分お賽銭が上がっていました。三角点P1677.3とザックの記念撮影。



御嶽大権現に安全ウォーキングのお願い、反対側は見晴台。



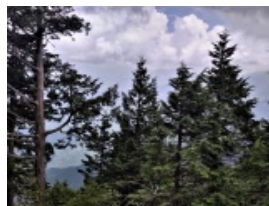
東方向展望、擂古木山か？安平路山の稜線か？



山頂避難小屋、トイレも新しくなっていました。居心地が良さそうです。



蘭コースと上の原コースの分岐、缶コーヒとチョコのランチで予定通り左折して上の原に直行。



中央アルプスは越百岳か？空木岳か？



樹林帯は陽射しが無く、苔むした巨岩、笹も優しく大変歩き易い。



疎林は笹の藪漕ぎ状態、道は良く踏まれているので道迷いの心配は無し。



中央アルプス遠望、自信を持って三座同定能力なし。



左は伊勢山かな？北方面遠望。



未だ半分も下って無いか！精神状態はナーバース、南木曾駅14:42に間に合うかどうか。



そんな事を考えていたら縦の根っこに乗ってスリップ転倒、そこで見つけたヤマジノホトトギス。



道は明瞭だが、人の背丈の藪漕ぎ、何とかありませんか？



巨木発見植物名は不明、とにかくデカイ。



関西電力送電線鉄塔工事中、今日は休日の様でした。



鉄塔工事で杉桧が伐採されて展望が開けました。



工事中の警告看板。




深い笹と夏草の藪漕ぎから脱出して上の原コース登山口に到達。



上の原の集落から南木曾岳方面を展望、

撮影機材：

 シャープ AQUOS sense5G SHG03 au

Myアイテム

山行に持って行ったMyアイテムを登録する

感想／記録

by miya10



梅雨明け十日は安定しているが、それを過ぎると気象が不安定になると昔から良く聞かすが、今週に入ってからの天気予報は午後から雷マークが毎日の様に表示されています。

そのせいかな？今日はハイカーに合うことも無く、珍しく全コース誰にも合わず、熊も猪にも遭遇する事なく至って静かな山行になりました。

その上、昼過ぎには西の方が少し黒い雲が出て少し心配になり判断に余裕が無くなり大急ぎで寄り道せずに上の原に直行する事にしました。

幸いその後、幾らか陽射しが回復して奇遇に終わりました。

以前に比べ歳のせいかな？精神がややナーバスになりました。

他人様にご迷惑を掛けない為にも、これは大事な事かも知れません。

ところで上の原コースは、ソロの場合藪漕ぎで多少不安になりますが、グループ登山の場合はトップの交代で問題なく、一致団結して良い思い出になります。